

## R. K. 英語英文学科・4年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してから、現地の情報を集めたり、BBC を聴いたり、英語の本や新聞などを読むように心がけていました。そして、3月末には渡英したので、入学申込書の提出、寮や履修科目の希望などの決定、ビザの申請などで、あっという間でした。

#### ② 語学研修期間

4月～6月中旬、7月～9月初旬の期間ですが、基本的には、General English、Essay、Presentation を勉強します。その他には、各期間中に Essay 提出や Group Working、Research Project などの Project Week が1週間程度ありました。Essay の授業は、学部での本番のために良い練習の機会ですし、役立ちました。プロジェクトでは、違う国の人と話し合い、プレゼンや実際に現地の学生にアンケートをインタビューしたりと、良い経験となりました。

#### ③ 正規科目履修期間

・履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容（科目ごとに100字以内程度））

渡英前に、事前に履修希望科目を各学部に応し込みします。そして、語学研修中（5～6月）に International Office の方が最後にもう1度、履修科目の相談をしてくれますし、この際に変更も可能でした。

・The Best of Broadway : Broadway Musical の歴史・発展など。Lecture が週に1時間あり、評価は定期試験で決まります。試験は、選択問題と short essay を1つでした。

・Identity, Difference and inequality : イギリス社会での教育・ジェンダー・移民などおいての問題点や差別問題などを幅広く勉強します。週に lecture と seminar が1時間ずつあり、評価は1回の essay と試験です。試験は、short essay を2つでした。

・Introduction to Cultural Analysis : 文化とは何か? 様々な定義や仮説を読み、文化（ヨーロッパ文化）がどのように発展し、どのように影響を与えているのかを勉強します。lecture と seminar があり、評価は essay と試験です。これも試験は、short essay を1つです。

#### ④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

Japanese Society に入っていました。リーズ大学には日本語学科があるので、ネイティブの学生と友達になる良い機会ですし、Language Partner も探しやすいと思います。また、ハロウィンやクリスマスにはパーティがあるので、仮装なども楽しめると思います。

#### ⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決

#### 定方法、設備、イベント紹介など)

私の場合、同じ寮に1年滞在することができましたが、現地の学生が長期休暇の時などは、同じ寮内で部屋を引越しました。場合によりますが、2回程は引っ越すと思います。

#### ⑥ 長期休暇の過ごし方

イギリスですので、国内でもいろいろ観光する場所がありますし、ヨーロッパにも安く行けますので、旅行をしていました。アイルランド・ドイツ・イタリアへ行きました。

#### ⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

マイナビやリクナビなどには登録していましたが、特にはしていませんでした。私の場合、これといった職種を決めずにいたので、留学生活を通して何を学んで、将来何をしたいのかなど考えるようにしていました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

様々な人、様々な国の友達と出会えた事です。その国の友達と出会ってから、初めて知った国もありますし、前から知っていた国だとしても、友達になってからその国の実際の文化などを知る事もできました。お互いの言葉を教えたり、料理を作って集まったりしました。そして、私にとっては、違う国の仲の良い友達ができたことでした。もちろん、いつも自分の言いたいことがちゃんと伝わるわけではなかったですが、お互い、いろんな話をして、買い物に行ったり、ご飯を作りあったり、そんな時間が私にとって、とても貴重な時間でした。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

自分の知識の無さや、英語力の無さを実感するときでした。頑張っても上手くいかない時もありましたし、上手くいったと思えば、次の日には落ち込むようなこともありました。留学生活を通して、喜んだり、落ち込んだりの繰り返しでした。また、文化の違いで誤解なども起きたりして、大変な時もありました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

イギリス人は、日本人と似た部分もあるかなと思っていましたが、イギリス人は日本人が気にする程、他の人の事を気にはしていないし、自分の着たい服を着るし、自分のしたいようにしているし、感情もストレートに表すと思いました。

## III. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

リーズ大学は International な大学で、本当にいろいろな国から留学生が来ています

し、勉強できる科目も豊富です。問題があれば、対応してくれます。たまに対応が遅かったり、人によって違うことを言われて困ったということもありますが、それ以外は快適に過ごせたと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは、Essay にも必要ですし、家族や友達と連絡を取るのには、とても大切です。

③ 語学力の向上等、留学の成果

語学力の向上は、自分では実感しにくいですが、留学前に比べたら上達していると思います。留学で得た経験は、私の中ですごく大きなものとなりました。留学で初めて知った事、体験した事は数え切れないくらいあります。楽しかった事も辛かった事も含めて、気付かされる事がたくさんありました。当たり前だと思っていた事が当たり前でなかったり、逆の場合もありました。留学という貴重な体験によって、今までよりずっと視野が広がったと思います。そして、いろいろな人に刺激を受け、努力すれば、もっと自分にもできることがあるのではないかと思えるようになったことです。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

1年という期間ですが、辛い事や楽しい事も含めて、その経験は留学でしか出来ないものもたくさんあると思います。そして、その経験が自分にとって貴重なものとなると思います。留学をして語学や勉強面以外にも得るものたくさんあります。少しでも興味があるのならば、ぜひ留学の夢をかなえて、いっぱい勉強して、いっぱい遊んで、貴重な1年を精一杯過ごして下さい。

#### IV. 写真



語学研修中のクラスです。大半の人は、master や PHD へ進む方ばかりでした。なので、英語だけでなく知識や経験も豊富な方たちばかりで、そのような人と一緒に勉強できたのは、恵まれた機会だったのだと思います。

## H. Y. 英語英文学科・4 年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

アルバイトばかりしていました。私は4回生での留学になったので、大学で開催される就職ガイダンスにも参加していました。英語は、リスニングやDVDを見て勉強したくらいでした。もっと勉強するべきだったと思います！

#### ② 語学研修期間

(英語圏：ESL, Academic Skills Study など、ソウル：韓国語集中講座、ドイツ：ドイツ語集中講座)

リーズでは2回に分かれて大学内にある Language Centre で語学研修がありました。

期間：3月31日～6月20日

7月7日～9月12日

人数：1クラス 15人 (全部で60人くらい)

サウジアラビア人が多かったのにびっくりしました。今まで会ったことがなかったので。

やったことは、Speaking, Listening, Writing, Reading, Presentation, Debate などです。Master や PhD の人がたくさんいました。

大学の雰囲気慣れるには良い環境だと思います。いろいろな国の人とお友達になれます。

でも、語学研修期間がちょっと長すぎる気もしました。私は学部の授業の方が内容も楽しかったので余計にそう思ったのかもしれませんが。

#### ③ 正規科目履修期間

・履修科目 (決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容 (科目ごとに100字以内程度))

・授業、レポート、定期試験

授業は何を取ろうかさんざん迷って、何度も登録しては変更しました。半期ではありますが、時間をかけて勉強していくものなので、自分の興味があるものの方が良いと思います。

私の場合は、たとえその授業の単位が簡単に取れるものであっても、あまり興味を抱かなければ取りませんでした。結果として専攻したのは心理学です。2回生で取る授業もあり、基礎知識が全くなかったので理解して覚えるまでに時間はかかりましたが、今でも興味を持ち続けて本を読んでいるので、あの時真剣に自分のやりたいことを考えて良かったと思っています。

Cognitive Psychology : 脳の損傷と行動について勉強しました。先生がとても魅力的な方でした。

**Social Psychology** : 自己について、集団の中で人はどう行動するかについて学びました。

**Introduction to Psychology** : 心理学の様々な分野の基本的なことをカバーするための授業でした。

**Visual Perception and Language** : 人間の目は物体を見て、それをどのように脳で処理して理解するのかを勉強しました。すごく難しかったです。

**English for Communication** : ネイティブの生徒にインタビューをしたり、方言を習ったり、新聞で一つのストーリーを追って読んでいきました。スペイン・イタリアの生徒が多く、ペアで作業をすることが多かったのが自然と仲良くなりました。

#### ④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

**Japanese Society** というクラブがありました。私はそれにはあまり行っていませんでしたが、そこでできた友達とは、学校で会ったときに話したり、図書館で一緒に勉強をしたりして仲良くしていました。

#### ⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

〈Carr Mills〉 3月下旬～6月下旬

日本にいるときにパンフレットを見てきめた大学の寮に住みました。ここは大学から歩いて20～25分くらいの距離でしたが、部屋やキッチンも広くて綺麗で、バス・トイレも個別についていたのでとても快適でした。1つのフラットに6人住んでいて、一緒にご飯を食べたり、プールに遊びに行きました。

〈Samara Plaza〉 7月～帰国まで

**Carr Mills** の契約期間が切れたので、更新せずに自分で見つけた、大学の隣にあるプライベートのフラットに3人でシェアして住みました。ダブルベッドで部屋も広がったのは嬉しかったです。今回は、バス・トイレは皆で一緒に使いましたが、住んでいるうちに家族のように仲良くなり、気を遣うこともあまりなかったと思います。いつも皆部屋のドアを開けっ放しにしていました。ご飯を一緒に作ったり、学校での出来事をおしゃべりしたり、私たち3人とその友達とで中華料理をよく食べに行きました。

#### ⑥ 長期休暇の過ごし方

旅行ばかりしていました。リーズから車で、ドイツやスイス、ベルギーを通過してイタリアへ旅行へ行きました。イタリア人の友達の家泊っていました。家族や親せきの方がフレンドリーで、とてもよくしてもらいました。

#### ⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

私は普段の生活が楽しかったです。フラットメイトとスーパーに買い物に行ったり、恋愛相談をし合ったり、一緒にご飯を食べて笑いあえたことが一番の思い出かなと思います。それに、ヨーロッパの国をたくさん旅行したことや、イタリアで家族ぐるみで仲良くしてもらえたことも嬉しかったです。とても充実した1年でした！

## ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

私は心理学の授業が週に5回、英語（English for Communication）が週に3回あったので予習を次の授業に間に合わせるのが大変でした。何度読んでも分からないこともあったし、理解できたと思って次の日に見たらどのような内容だったか忘れていたこともありました。教授の部屋を訪ねて質問をしに伺ったにもかかわらず、何が分からないかが分からなくて、苦労した日もありました。しかし、私は心理学の勉強が大好きだったので、モチベーションを保つことはできました。

特に苦労したことは、試験前の勉強です。英語はプレゼンテーションや面接だったので良かったのですが、心理学の方は筆記だったので、どんな問題が出るかも分からなかったため、自分で予想問題を作って2～3ページくらいの解答を作って試験対策をしました。

私はよく図書館で友達と勉強をしていたのですが、昼食後は本を読んでいるとすぐ眠くなって良く寝ていました。そして、起きてからまた勉強した後、大学内にある Sports Centre のメンバーになって夕方1時間程度走っていました。そこで友達ができたりもありましたし、授業で仲良くなった友達と一緒にいたりして、楽しめました。運動不足とストレス解消にもなり一石二鳥でした。

## ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

〈約束を守らないこと〉

私は Private accommodation を出る際に、自分で次に住む人を見つけなければなりません。そこで、いろんな人とコンタクトを取って、「じゃあ明日の夕方5時にここで待ち合わせね」という約束をしても、当日何の連絡もなく来ないということが何度かありました。来られないならそれでもいいから、一言言ってくれたら良いのに！と思いました。このことを不動産屋に言うと、ここでは良くあることだから気にしないようにと言われてました。日本では考えられなかったことだし、ちょっと失礼だなあと感じました。

〈タクシー〉

リーズでは、タクシーに乗りたいときは事前に電話で予約しなければなりません。日本みたいにタクシーがそこらでドアを開けて待っていてくれるということはありません。そして、タクシーの運転手はほとんどがインド人っぽい方ばかりでした。私がかからず空港までタクシーで行こうと電話で予約した時のことです。私は自分の家の住所を言ったのに、そんな住所は知らないと言われてました。私はびっくりして（そこは大学のすぐ隣にある大きな寮だったからです）、その近くにある建物やストリートの名前を伝えましたが、向こうは

面倒になったのか電話を切ってしまいました。時間ないのに・・・！と思いつつ違うタクシー会社に電話して、無事に空港までたどり着くことができました。ちなみにこの運転手さんはとても優しい方でした。もう少しタクシーの制度が良かったらなあと思います。

### Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

#### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

##### 【良かったところ】

規模が大きく、留学生も多いのでいろんな国の友達ができるところ

図書館が大きく、本の種類が充実していて、夜遅くまで開いているところ

色々な授業を取ることができるところ

コンピューター室が24時間開いているところ

大きくもなく小さくもない街なので、住みやすかったです。

##### 【悪かったところ】

学食が少し高いところ

(仕方ないけれど) 天気があまり良くないところ

#### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの (パソコン持参の有無も含めて)

〈パソコン〉私は自分のパソコンを持って行きました。大学の全てのパソコンは日本語が使えますが、家に帰っても使うので持っていく方が良いと思います。

〈ファンデーション〉マスカラやアイシャドーなどは向こうのでも合いましたが、私はファンデーションは日本の方が良いなあと思いました。あと、メイク落としは絶対日本のものが良いです。向こうでも試してみましたがきれいに落ちませんでした。

〈スカイプ〉私は初めの1カ月、日本の携帯で電話をしていたため、携帯代が恐ろしいほど高くなってしまいました。スカイプは顔も見ることができるのでお勧めです。

〈変圧器〉長期休暇を利用して、旅行をすることが多いと思います。国によってプラグの形や数が違うので、できるだけ多くの国で使えるものを買っておくと便利だと思います。

#### ③ 語学力の向上等、留学の成果

私は自分の英語力が伸びているのか、正直分かりません。寮に入ったばかりに時に「3カ月もたてば皆慣れるよ」と他の留学生の子に言われましたが、実際に3カ月たってみても、何も変わっていないような気がしました。

私は毎週末映画を観に行っていました。初めの頃は、観終わった後、友達に解説をしてもらっていましたが、今では映画を字幕なしでも分かるようになったことを思うと、やっぱり向上したのかなと思います。あとは、英文を読むのが速くなったかなと思います。

しかし私の場合は、英語力の向上よりも、もっと内面的なものを磨いていきたいと強く思

ったことが留学の成果だったと思います。例えばディベートをする場合、たとえ英語が話せても、自分のその問題に対する幅広い見方ができないと、そしてそれに対する自分の意見がしっかりしていなければ、良いディベートはできないんじゃないかな？と感じました。これからも多くの経験をして、どんな些細なことでも無駄にせず吸収して行って、もっと成長していきたいです。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学する前に日本の文化や文学について知って行く方が良いと思います。行ってからは、とにかくいろんな人と会って、一緒に過ごす時間を楽しんでください！でも無理はしないで自然体で☆私は行ったばかりの頃、一回人に会うのが面倒になった時がありました。それで一日部屋にいたらやっぱり寂しくなってきた、次の日には「誰かと一緒にいたいっ！」と思って友達と会っていました。勉強も大変で、泣いたこともたくさんあったけれど、今思い出してみるとそれも素敵な思い出だなあと感じます。あっという間に月日は過ぎていくので日記をつけたり、家族や友達と連絡を取り合いながら、充実した留学生活を送ってください！！

## IV. 写真

- ① 短期留学に来ていた日本人の友達が帰国するので、お見送りに行ったときの写真です。朝早くだったけれど、**Japanese Society** で仲良くなった友達もたくさん来ていました。何の授業も一緒ではなかったのに、いつの間にか恋愛相談を持ち掛けられるほど仲良くなっていました！





- ② イタリアで、友達の友達の結婚式に招待されました。教会で式を挙げた後、お米を新郎新婦さんにふりかけて、その後パーティーに行きました。友達のお母さんと一緒にドレスや靴を選びました。私はイタリア語が話せないのに、いろんな人がとても親切にしてくれて嬉しかったし、素敵な思い出となりました。

